

衆議院議長 殿

平成 26 年 月 日

参議院議長 殿

自己免疫性肝疾患患者の療養支援の推進を求める

請 願 書

請願団体

日本肝臓病患者団体協議会

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-26-1001

電話(03)5982-2150 FAX(03)5982-2151

請願人・紹介議員欄
は空欄で
願います

請願人氏名 (印)

請願人住所

紹介議員 (印)

請願趣旨

自己免疫性肝疾患である、原発性胆汁性肝硬変（PBC）、自己免疫性肝炎（AIH）、原発性硬化性胆管炎（PSC）は症状を改善したり、進行を遅らせたりする薬はありますが、根本的な治療薬はありません。そのため患者は長い年月に亘ってこの難病と共に暮らしており、心身ともに厳しい状況におかれ、経済的にも苦しんでいます。

原発性胆汁性肝硬変は特定疾患に指定されているので医療費の公費負担がありますが、同じ自己免疫性肝疾患であっても、自己免疫性肝炎と原発性硬化性胆管炎は公費負担がありません。

自己免疫性肝疾患の研究を進めて頂くと共に、根本的な治療薬の開発推進、そして、全ての自己免疫性肝疾患への等しい医療費支援など、自己免疫性肝疾患の療養支援の推進を求める請願を致します。



自己免疫性肝疾患患者の 療養支援の

願いを国会へ!

請願項目の趣旨 _____

1 「自己免疫性肝疾患を根本的に治す薬を早く開発して下さい」

症状を改善したり、進行を遅らせたりする薬はありますが、根本的な治療薬はありません。そのため患者は長い年月に亘って心身の苦痛を抱えながら過ごしています。疾患の研究促進と根本的に治す薬を開発して下さい。

2 「自己免疫性肝炎、原発性硬化性胆管炎の医療費の支援をして下さい」

原発性胆汁性肝硬変は特定疾患に指定されているので、医療費の公費負担がありますが、同じ自己免疫性肝疾患でありながら、自己免疫性肝炎と原発性硬化性胆管炎は公費負担がありません。一方は医療費の助成があり、他方は無いというのではなく、全ての自己免疫性肝疾患に等しく医療費の支援をして下さい。

3 「自己免疫性肝疾患の合併症や治療薬剤の副作用起因による疾患の医療費の支援をして下さい」

色々な合併症が発症します。また治療薬剤の副作用起因による色々な疾患が発症します。合併症や治療薬剤の副作用起因による疾患の医療費の支援をして下さい。

4 「効果があり実際に使用されている薬剤に保険適用をして下さい」

自己免疫性肝疾患に効果のあるアザチオプリン、ベザフィブラート等の薬剤が保険認可されていません。医療現場では保険適用されている他の疾患の治療として実際に使われています。早急に実態を調査いただき保険適用の認可をして下さい。

署名にあたってのお願い

国会にこの署名を届けるための活動費として使わせていただきます。

募金にご協力ください

*署名欄の住所は、都道府県名は不要ですが「同」、「〃」などと省略せず、市町村名から所番地まできちんと記載して下さい。お願いいたします。

